

同窓会報「麗和」の編集に参加して

●浦高同窓会報「麗和」も64号を迎えて!

先週5日に「緊急事態宣言」の再延長が決まり、手帳に記載していた3月の予定も少しですがキャンセルになりました。そんな中で、今日は16時から浦高同窓会報「麗和」の編集会議が行われるので、久々に浦高校内の麗和会館までまいります。

私が会報「麗和」の編集委員になったのは、2013年度の会報「麗和56号」の編集からでした。編集委員は、浦高OBで浦高に在籍されているしやる教員の校内幹事の皆さんと外部のOB、同窓会事務局で構成されており、今年度は校内幹事が7名、外部OBが3名、事務局2名の合計12名で担当しています。

現在の外部委員は、浦高同窓生などにも幅広い人脈を持ち、出版のプロでもあるさきたま出版会会長の星野和央さん(高4回、編集委員30年以上の大ベテラン)、同窓会元事務局長で同窓会ホームページ委員長でもある鯨井光夫さん(高19回)、そして私・香田(高25回)の3人です。私が参画するきっかけは、春日部地区浦高会での会報「喫茶去」を頻繁に出し情報発信していたことが、星野さんや事務局の皆さんから面白いと思われたことと、星野さんとは別の勉強会でお世話になっていて気心が通じるということであったと思います。

さて、編集委員の仕事は、概ね20ページ程度の会報を約4カ月でまとめることですが、次のようなスケジュールで編集が進みます。

◇ ◇

【第1回編集会議】 今回の日程2020年12月2日
第1回の編集会議では、編集企画、特集の検討、執筆依頼先の検討、ページ割りと担当者の割り振り、会報発行までのスケジュール確認などが行われます。執筆者からの原稿締切は1月20日前後です。

【第2回編集会議】 2021年2月3日
第2回の会議では、集まった原稿を読み合わせて校正に向けた協議が行われます。特に特集などについては見出しの付け方やレイアウトなどの細かな協議もあります。15日前後には印刷所に原稿が送られ、初校が組まれます。

【第3回編集会議】 3月10日
3月初めに初校が出てきて、編集委員が通読して校正を行い、第3回編集会議で全体調整します。第1回編集会議での編集企画と同様に「会報」に命が吹き込まれる大切な会議となります。写真の大きさ、バランスなどのチェックも入ります。

【第2校正】 3月下旬
3月下旬に第2校が出されて、編集委員個々が誤字脱字、文章表現などを確認して編集長(校内幹事)に戻します。

【最終校正】 4月初
教職員の人事異動情報なども入れるため、編集長と事務局にお願いして、最終原稿の差し替えなどもあり、出張校正などで最終校正をしてもらい、確認後印刷に回してもらいます。

【同窓会報発行】 4月10日
印刷が無事に終わり、約2万5千人の同窓会員のところに、さまざまな資料と一緒に発送されます。

◇ ◇

例年の紙面構成は…

【表紙・目次】 1p
表紙は前年に浦高生たちが活躍した写真など

【挨拶】 2p
同窓会長の挨拶、新任校長の挨拶など

【特集】 3p~7p
前年笈の同窓会活動や浦高の現状(昨年は浦高ラグビー部の活躍)

【地域職域同窓会】 8~9p
地域職域同窓会責任者会議の様子と、4つの地域職域同窓会を訪ねての紹介、地域職域同窓会の連絡網

【浦高百年の森通信・浦高奨学財団】 10p
浦高創立110周年記念事業の「浦高百年の森」、120周年記念事業の「奨学財団」の活動状況報告

【果てしなく広がる同窓の輪】 11p
同期会や地域職域同窓会の活動状況を紹介

【麗和セミナー】 12~13p
卒業生の英知を在校生へ直接伝える麗和セミナー、例年5回程度開かれるセミナーの講師と概要の報告

【声】 14~15p
さまざまな分野で活躍される方々からのメッセージ

【学校はいま、部活報告】 16~17p
退任教職員の挨拶、人事異動、部活動の活躍状況

【同窓会総会レポート、事業報告】 18~19p
前年度の同窓会総会、講演会、前年度同窓会活動等の報告

【事務局通信】 20p
当該年度の予定、麗和文庫等への献本などの報告

◇ ◇

私も会報編集に携わって間もなく10年、多くの同窓生の皆様に同窓会活動をご理解・ご協力いただくとともに、母校に愛着と誇りを感じていただける情報発信のために、何をどのようにお伝えすれば良いかを考える日々は大変ですが楽しくもあります。今回は64号、会報が発行されてから64年が経つのですね。長い歴史の中で、まだまだ微力ですが、次へのバトンタッチも考えながら目の前の1号に全力を傾注していきたいと思っています。しかし、星野さんの30数年は凄い!

